次期農業・水産業基本計画　社会情勢の変化と政策の方向性の関係図①【人口減少、少子・高齢化】

第4回滋賀県農業・水産業基本計画審議会　資料⑤
令和2年(2020年)11月16日　滋賀県農政水産部

社会情勢の変化と滋賀県農業・水産業への影響	必要とされる取組	目指す姿の視点	政策の方向性	具体的施策	担当課
人口減少、少子・高齢化					
農業・漁業従事者の減少 次世代への技術継承の断絶	① 地域自給力の向上	経済・1	農業・水産業を魅力ある職業に	＜農業における経営力の向上(所得の最大化)＞	
				新規就農者の経営安定対策や若手農家のスキルアップ促進	経
				コ 経営力の向上に向けたスマート農業の導入支援 【経済・2に再掲】	経
				コ スマート農業に対応した農業水利施設水管理の省力化の推進 【社会・1から再掲】	耕
				コ スマート農業が活用できる基盤整備の推進 【社会・1から再掲】	耕
				経営力の向上に向けた複合化や6次産業化の推進	経
				人・農地プランの実質化や農地中間管理機構の活用による農地の集積・集約化の推進	経
				ほ場整備等による農地の集積・集約化の推進 【社会・1から再掲】	耕
				個別経営体と集落営農組織や、集落営農組織間の連携の推進	経
				地域農業戦略指針を活用した地域農業の目指す方向について話合いを推進	経
				コ 農業法人等への就職者の定着促進	経
				農業者のGAP取得の支援	ブ
				産地の生産力を最大限に引き出すための生産体制の強化 【経済・2から再掲】	経
				コ 生産性の高い大規模施設園芸の導入による新たな農業経営の確立 【経済・2から再掲】	経
				＜水産業における経営力の向上(所得の最大化)＞	
				コ 漁獲情報の電子化・一元化の基盤構築 【経済・4に再掲】	水
				コ 漁業組織の販売スキル強化と流通業者との連携による新たな流通の拡充 【人・4から再掲】	水
				迅速な資源評価体制の整備 【経済・4、環境・3に再掲】	水
				コ 漁獲効率化や技術継承のための琵琶湖漁業のICT化推進 【人・1に再掲】	水
				水産業における6次産業化の推進	水
				コ 女性活躍や浜の活性化に対する支援	水
				漁業組織の強化・充実	水
				コ 琵琶湖で働く新しい生き方を支援(漁業の担い手のスキル向上)	水
	② 農業・農村への誘導	経済・2	需要の変化への対応と農地・農業技術等のフル活用の推進	＜需要の変化に対応する産地づくり＞	
				産地の生産力を最大限に引き出すための生産体制の強化 【経済・1に再掲】	経
				コ 用途や品種ごとの需要の変化に柔軟に対応する米づくりの促進	経
				コ 主食用米からの転換作物として飼料用米、輸出用米等の非主食用米の効果的な導入と生産性の向上	経
				コ 国産への期待が高まる麦・大豆の生産性を向上する本作化の推進	経
				コ 加工用野菜の国産需要を取り込むための契約栽培を中心とした野菜産地の育成	経
				コ 大規模花き生産者の育成による安定した花き供給体制の確立	経
				＜新たな作物や栽培技術等の積極的な導入および新品種の育成＞	
				コ 経営力の向上に向けたスマート農業の導入支援 【経済・1から再掲】	経
				コ スマート農業に対応した農業水利施設水管理の省力化の推進 【社会・1から再掲】	耕
				コ スマート農業が活用できる基盤整備の推進 【社会・1から再掲】	耕
				新たな需要を開拓する主食用米や酒米の品種の育成と普及	経
				パン用など新たな用途に適した小麦の品種の選定と普及	経
				コ 水田での果樹の展開による新たな水田活用の提案	経
				コ 生産性の高い大規模施設園芸の導入による新たな農業経営の確立 【経済・1、環境・3に再掲】	経
				＜需要の開拓につながる滋賀の特色ある農産物の生産＞	
				食味ランキングでの継続的な「特A」取得や消費者に支持される滋賀ならではの特色ある米の安定生産と供給による産地の信頼の向上 【経済・5に再掲】	経
				化学肥料や農薬の使用量を削減し、琵琶湖の水質保全、地球温暖化防止、生物多様性等に資する環境こだわり農産物の生産の安定・拡大の促進 【環境・1から再掲】	ブ
				コ 安定生産・省力化技術体系の確立・普及によるオーガニック農産物の生産の拡大	ブ
				コ オーガニック生産者のJA部会などの組織化を推進	ブ
				コ オーガニックなどの特徴あるお茶の生産拡大による茶産地の底上げ	ブ 経
				＜生産を支える農地の基盤整備の推進＞	
				農地のフル活用に資するための農業水利施設の整備・更新 【社会・1から再掲】	耕
				農地のフル活用に資するための農地の基盤整備 【社会・1から再掲】	耕
				コ スマート農業に適した基盤が整備された地域に、GNSS基地局などの先進的技術を導入し、効率的な営農を展開し地域の収益力を向上させる施策の推進 【社会・1から再掲】	耕
食品消費量の減少	③ 県産農畜水産物の消費拡大	経済・3	近江牛などの畜産物の持続可能な安定生産の推進	＜近江牛をはじめとした畜産物の持続可能な安定生産へ向けた取組＞	
				畜産クラスター等の取組により、地域関係者の連携を推進	畜
				肉用牛繁殖基盤を強化し、地域内一貫生産体制の確立による和牛子牛の県内安定確保	畜
				コ キャトル・ステーションやコントラクター等の外部組織の活用を推進	畜
				新鮮で良質な生乳を安定的に生産し、学校給食用牛乳をはじめ、消費者に安全・安心な県産牛乳を供給	畜
				＜家畜ふん堆肥の有機資源としての有効活用と耕畜連携によるエサづくり＞	
				耕畜連携による家畜排せつ物の利活用推進 【環境・1に再掲】	畜
				コ ペレット化等により堆肥の広域流通を促進し、土づくりの取組を推進 【環境・1に再掲】	畜
				自給飼料生産や飼料用米活用など、飼料自給率の向上を推進	畜
農村集落(地域コミュニティ)の弱体化 耕作放棄地の増加	② 農業・農村への誘導	経済・4	琵琶湖漁業の継続	＜水産資源の管理と持続的利用の推進＞	
				漁獲情報の電子化・一元化の基盤構築 【経済・1から再掲】	水
				迅速な資源評価体制の整備 【経済・1から再掲】	水
				一元化された漁獲情報をもとにした迅速な資源管理型漁業の実践	水
				資源管理と連動した栽培漁業の実践	水
				水産行政(許認可制度・普及指導施策)の見直しによる効率的な漁業の展開	水

コ は、コロナ禍を経て重点的に進める施策　政 農政課　ブ 食のブランド推進課　経 農業経営課　畜 畜産課　水 水産課　耕 耕地課　村 農村振興課

次期農業・水産業基本計画　社会情勢の変化と政策の方向性の関係図②【人口減少、少子・高齢化】

社会情勢の変化と滋賀県農業・水産業への影響	必要とされる取組	目指す姿の視点	政策の方向性	具体的施策

人口減少、少子・高齢化

- 農業・漁業従事者の減少　次世代への技術継承の断絶
  - ① 地域自給力の向上
  - ② 農業・農村への誘導
- 食品消費量の減少
  - ③ 県産農畜水産物の消費拡大
- 農村集落（地域コミュニティ）の弱体化　耕作放棄地の増加
  - ② 農業・農村への誘導

人・1　新規就農者・新規漁業就業者の確保

担当課

＜本県農業の中核となる農業者の確保＞

- コ 就農希望者に対する就農・就職等に関する情報提供や相談活動の推進　経
- コ 就農希望者向け基礎講座や農業現地ツアーなど就農準備への支援　経
- コ 農業法人等への就職を促進するためのマッチング機会の充実　経
- 農業学科設置の高等学校など教育機関との連携強化　【人・3に再掲】　経
- 県内大学生等の農業法人等へのインターンシップや就農相談者向け短期農業体験の推進　【人・3に再掲】　経
- 農業大学校における専門技術や経営の学習の充実と就農支援　経
- 農業大学校や先進農業者での就農前研修に対する経済支援　経
- 地域農業戦略指針を活用した地域農業の担い手の確保・育成について話合いを推進　経

＜本県農業・農村を支える多様な人材の確保＞

- 女性の就農希望者や地域農業に関心のある女性に対する支援　経
- コ リモートワークなど新たな視点も含めて農業に関わる人材の確保　経
- 集落みんなで地域農業を守る「地域貢献型集落営農組織」に対する人材の確保　経
- コ 生活と生産が距離的に近い特徴を持つ滋賀らしい多様な生産者と生産基盤の充実　プ

＜新規漁業就業者の確保＞

- コ 琵琶湖で働く新しい生き方支援（漁業の担い手確保）　水
- 融資、住居・漁船あっせん等の漁業就業支援　水
- コ 漁獲効率化や技術継承のための琵琶湖漁業のICT化推進　【経済・1から再掲】　水

人・2　大人に対するすそ野拡大

＜都市と農村の交流、農業・漁業体験等による「人」の「すそ野」の拡大＞

- コ 摘み取り等のサービス提供や農業体験など、消費者とのタッチポイントの強化による直売所や観光農園等の活性化　プ
- グリーンツーリズム滋賀や農泊等を通じて魅力を発信し都市と農村の交流機会を増大　村
- 棚田の魅力発信や棚田ボランティア制度の推進　村
- コ 企業や大学、NPO等の多様な主体との連携・協働による地域資源を活用した農村地域の活性化　村
- 漁業や湖魚料理を学べる体験機会の提供　【人・3に再掲】　水
- ふなずし講習会等の食文化継承の取組　【社会・2に再掲】　水
- 消費者・観光客等に向けた湖魚の取扱情報や魅力の発信　水
- 河川漁協における釣り教室開催など遊漁人口を増やす取り組みへの支援　水

人・3　子ども・若者に対するすそ野拡大

＜学校教育との連携の推進＞

- 農業学科設置の高等学校など教育機関との連携強化　【人・1から再掲】　経
- 中学生、高校生、大学生等の農業体験等を通じた職業選択の意識喚起　経
- 県内大学生等の農業法人等へのインターンシップの推進　【人・1から再掲】　経
- 農業農村の多面的機能に関する出前講座等学習の場の提供　村
- 学校等における漁業体験や湖魚の放流体験学習等の活性化支援　水

＜食育活動等の推進＞

- 「たんぼのこ」などの農業体験や学校給食等を通じた食や環境こだわり農業をはじめとする本県農業への理解促進　プ
- 漁業や湖魚料理を学べる体験機会の提供　【人・2から再掲】　水
- コ 学校給食での湖魚利用拡大の促進（食文化継承・食育）　水
- コ 若者向け動画配信等の湖魚情報メディアの多様化の推進　水

人・5　農作業の多面的機能を活かした共生社会づくり推進

＜新たな農福連携の推進＞

- 「しがの農×福ネットワーク」における多様な主体との連携の促進　政
- 農作業等の受委託マッチングの推進　政
- 新たな農福連携への取組支援　政
- 農福連携を契機とした農業経営の発展モデルの構築　経
- コ 多様な主体と中山間地域の農村集落等との協働活動の推進　村

コ は、コロナ禍を経て重点的に進める施策　政 農政課　プ 食のブランド推進課　経 農業経営課　畜 畜産課　水 水産課　耕 耕地課　村 農村振興課

次期農業・水産業基本計画　社会情勢の変化と政策の方向性の関係図③【人口減少、少子・高齢化】

社会情勢の変化と滋賀県農業・水産業への影響	必要とされる取組	目指す姿の視点	政策の方向性	具体的施策	担当課
人口減少、少子・高齢化					
農業・漁業従事者の減少 次世代への技術継承の断絶	① 地域自給力の向上	人・2	大人に対するすそ野拡大	＜県産農畜水産物の魅力発信による「人」の「すそ野」の拡大＞	
				コ 都市部に暮らす女性に向けた「食と農」の魅力発信による関係人口の増加の推進	経
				SDGs達成に向けた取組としての環境こだわり農業の魅力発信	ブ
				近江米の魅力発信や新たな食べ方提案などによる近江米のファンの拡大	ブ
				コ 滋賀県産の園芸品目・茶のあらゆる消費シーンにおける魅力発信や新たな利活用方法の提案などによるファンの拡大	ブ
				コ クラウドファンディング等の活用による県産農畜水産物のファンの拡大	ブ
				コ 直売所等を拠点とした、滋賀の食材等の多様なサプライチェーンの確保【人・4、経済・5に再掲】	ブ
	② 農業・農村への誘導	人・3	子ども・若者に対するすそ野拡大	＜食育活動等の推進＞	
				「たんぼのこ」などの農業体験や学校給食等を通じた食や環境こだわり農業をはじめとする本県農業への理解促進	ブ
				漁業や湖魚料理を学べる体験機会の提供【人・2から再掲】	水
				コ 学校給食での湖魚利用拡大の促進（食文化継承・食育）	水
				コ 若者向け動画配信等の湖魚情報メディアの多様化の推進	水
食品消費量の減少	③ 県産農畜水産物の消費拡大	人・4	食品関連事業者に対するすそ野拡大	＜県産農畜水産物を取り扱う食品関連事業者の拡大促進＞	
				コ 直売所等を拠点とした、滋賀の食材等の多様なサプライチェーンの確保【人・2から再掲】	ブ
				「おいしが うれしが」キャンペーンや「琵琶湖八珍マイスター」登録制度等による、地産地消推進事業者の拡大と取組の活性化【経済・5に再掲】	ブ 水
				県産農畜水産物のフェアーやシェフの産地訪問等による、首都圏や京阪神の飲食店・ホテル等における県産食材の活用の促進【経済・5に再掲】	ブ
				「滋賀県農林水産業新ビジネス創造研究会」等を通じ、6次産業化や農商工連携に取り組む事業者との連携の強化【経済・5に再掲】	経
				農産物の生育状況や湖魚の漁獲状況など産地情報の提供を通じた、生産者・漁業者と食品関連事業者とのマッチングの促進【経済・5に再掲】	ブ 水
				コ 漁業組織の販売スキル強化と流通業者との連携による新たな流通の拡充【経済・1に再掲】	水
農村集落（地域コミュニティ）の弱体化 耕作放棄地の増加	② 農業・農村への誘導	経済・5	「滋賀の幸」のブランド力向上および消費拡大	＜「滋賀の幸」の付加価値の向上＞	
				環境こだわり米の「みずかがみ」・「コシヒカリ」や、象徴となる「滋賀県産オーガニック農産物」（特に米・茶）、「魚のゆりかご水田米」の情報発信を強化し、環境こだわり農産物全体のブランドイメージ・認知度の向上	ブ 村
				琵琶湖と共生する農林水産業「琵琶湖システム」の（世界）農業遺産登録に向けた取組を通じ、本県農山漁村や農畜水産物の魅力と価値に関する情報発信を推進	ブ 政
				地理的表示（GI）や商標など、県産農畜水産物のブランド向上に資する公的認証の取得に対する支援	ブ 畜
				専門家派遣や普及活動等を通じた農業者・水産業者の6次産業化や農商工連携の取組の推進	経
				食味ランキングでの継続的な「特A」取得や消費者に支持される滋賀ならではの特色ある米の安定生産と供給による産地の信頼の向上【経済・2から再掲】	経
				地域の関係機関・団体・事業者との連携による、県内産園芸作物（野菜、果樹、花き）のブランド構築の推進	ブ
				地理的表示（GI）として登録された「近江牛」の魅力を県内外に発信するとともに、県産地どり「近江しゃも」をはじめとした本県畜産物のブランド力の強化	畜
				コ 「琵琶湖八珍」等びわ湖のめぐみ、養殖ビワマス「びわサーモン」・琵琶湖産淡水真珠等の消費者へのPRを通じ、本県水産物のイメージ向上・定着の促進	水
				＜地産地消の強化と首都圏や海外における販路の開拓・拡大＞	
				コ 直売所等を拠点とした、滋賀の食材等の多様なサプライチェーンの確保【人・2から再掲】	ブ
				「おいしが うれしが」キャンペーンや「琵琶湖八珍マイスター」登録制度等による、地産地消推進事業者の拡大と取組の活性化【人・4から再掲】	ブ 水
				県産農畜水産物のフェアーやシェフの産地訪問等による、首都圏や京阪神の飲食店・ホテル等における県産食材の活用の促進【人・4から再掲】	ブ
				海外での関係機関と連携した、県産食材の戦略的なPRによる認知度向上と販路開拓の推進	ブ
				農産物の生育状況や湖魚の漁獲状況など産地情報の提供を通じた、生産者・漁業者と食品関連事業者とのマッチングの促進【人・4から再掲】	ブ 水
				生産者・漁業者が行うICT等を活用した新たな流通・販路開拓の取組に対する支援	ブ 水
				「滋賀県農林水産業新ビジネス創造研究会」等を通じ、6次産業化や農商工連携に取り組む事業者との連携の強化【人・4から再掲】	経
				＜「滋賀の幸」の魅力発信やPR活動を通じた販売促進・消費拡大＞	
				HPやSNS等を通じた、近江米、近江牛、近江の茶、湖魚および近江の野菜をはじめとする、「滋賀の幸」の総合的な情報発信の推進	ブ
				滋賀の農畜水産物を取り扱う直売所や飲食店での情報発信の強化	ブ
				「おいしが うれしが」キャンペーンや「琵琶湖八珍マイスター」登録制度等による、地産地消推進事業者の拡大と取組の活性化【人・4から再掲】	ブ 水
				県内市場の市場機能の活性化による流通の促進	ブ
				「近江米や県産野菜等の消費拡大運動」の展開、学校給食での本県産食材の利用促進等により、本県農畜水産物の消費拡大を推進	ブ

コ は、コロナ禍を経て重点的に進める施策　政 農政課　ブ 食のブランド推進課　経 農業経営課　畜 畜産課　水 水産課　耕 耕地課　村 農村振興課

次期農業・水産業基本計画　社会情勢の変化と政策の方向性の関係図④【人口減少、少子・高齢化】

社会情勢の変化と滋賀県農業・水産業への影響	必要とされる取組	目指す姿の視点	政策の方向性	具体的施策	担当課
人口減少、少子・高齢化	農業・漁業従事者の減少 次世代への技術継承の断絶	① 地域自給力の向上	人・2 大人に対するすそ野拡大	＜都市と農村の交流、農業・漁業体験等による「人」の「すそ野」の拡大＞	
				コ 摘み取り等のサービス提供や農業体験など、消費者とのタッチポイントの強化による直売所や観光農園等の活性化	プ
				グリーンツーリズム滋賀や農泊等を通じて魅力を発信し都市と農村の交流機会を増大	村
				棚田の魅力発信や棚田ボランティア制度の推進	村
				コ 企業や大学、NPO等の多様な主体との連携・協働による地域資源を活用した農村地域の活性化 【社会・2に再掲】	村
				漁業や湖魚料理を学べる体験機会の提供 【人・3に再掲】	水
				ふなずし講習会等の食文化継承の取組 【社会・2に再掲】	水
				消費者・観光客等に向けた湖魚の取扱情報や魅力の発信	水
				河川漁協における釣り教室開催など遊漁人口を増やす取り組みへの支援	水
		② 農業・農村への誘導			
	食品消費量の減少	③ 県産農畜水産物の消費拡大			
	農村集落（地域コミュニティ）の弱体化 耕作放棄地の増加	② 農業・農村への誘導	社会・2 農山漁村の持つ多面的価値の次世代への継承	＜平坦地・中山間地域に共通した多面的価値の次世代への継承＞	
				地域農業戦略指針に基づく「話し合い」の推進による若い世代（次世代）が参画し易い合意形成場面、手段の提案と新たな集落ビジョンの作成	経 村
				農地の集積・集約への協力、共同管理への積極的な参加などの推進	経
				コ 企業や大学、NPO等の多様な主体との連携・協働による地域資源を活用した農村地域の活性化 【人・2から再掲】	村
				コ 半農半Xも含めた多様な人材を活用した農業・農村の維持・活性化	経 村
				集落内外の組織や非農家の住民との更なる連携、活動組織の広域化等を図りながら地域資源の共同保全活動を支援する世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策を推進	経 村
				コ スマート農業等を活用した農地・水路等の保全に係る省力化技術の導入	経 村
				＜中山間地域における多面的価値の次世代への継承＞	
				耕作放棄地の発生を防止し、農業生産活動の継続を支援する中山間地域等直接支払制度の推進	村
				コ 中山間地域に特化したスマート農業新技術の推進（展示ほ、実演会等）	経 村
				中山間地域における農業生産基盤の整備 【社会・1から再掲】	耕
				中山間地域における農村環境の整備 【社会・1から再掲】	耕 村
				農作物の鳥獣害被害発生を減少する取組推進	経
				「中山間地域振興の手引き」を活用した話し合いに基づく中山間地域の活性化	村
				＜中山間地域における多面的価値の次世代への継承＞	
				ふなずし講習会等の食文化継承の取組 【人・2から再掲】	水
				漁業者による漁場保全、植林活動、講習会への支援 【環境・2から再掲】	水

コ は、コロナ禍を経て重点的に進める施策　政 農政課　プ 食のブランド推進課　経 農業経営課　畜 畜産課　水 水産課　耕 耕地課　村 農村振興課

次期農業・水産業基本計画　社会情勢の変化と政策の方向性の関係図⑤【農業生産基盤の老朽化、環境の変化・悪化、異常気象・リスク発生】

社会情勢の変化と滋賀県農業・水産業への影響	必要とされる取組	目指す姿の視点	政策の方向性	具体的施策	担当課
農業水利施設や農地等の生産基盤の老朽化の進行	④ 農業生産基盤整備の推進	社会・1	農業水利施設の計画的な保全更新対策・管理の省力化および農地の基盤整備の推進		
				＜農業水利施設の保全更新＞	
				農業水利施設のアセットマネジメントの推進	耕
				コ 5Gなどの通信環境の整備やICT・AI技術、ドローンなどを活用した農業水利施設の管理省力化技術の導入	耕
				コ スマート農業に対応した農業水利施設水管理の省力化の推進 【経済・1、経済2に再掲】	耕
				農地のフル活用に資するための農業水利施設の整備・更新 【経済・2に再掲】	耕
				＜農地の基盤整備の推進＞	
				コ スマート農業が活用できる基盤整備の推進 【経済・1、経済・2に再掲】	耕
				ほ場整備等による農地の集積・集約化の推進 【経済・1に再掲】	耕
				農地のフル活用に資するための農地の基盤整備 【経済・2に再掲】	耕
				コ スマート農業に適した基盤が整備された地域に、GNSS基地局などの先進的技術を導入し、効率的な営農を展開し地域の収益力を向上させる施策の推進 【経済・2に再掲】	耕
				中山間地域における農業生産基盤の整備 【社会・2に再掲】	耕
				中山間地域における農村環境の整備 【社会・2に再掲】	耕
琵琶湖とそれを取り巻く環境の変化・悪化	農業濁水問題、農業系廃プラスチック問題の顕在化 水産資源の減少	⑤ 琵琶湖とそれを取り巻く環境保全再生	環境・1	農業による琵琶湖を取り巻く環境保全対策推進	
				＜環境こだわり農業の推進＞	
				化学肥料や農薬の使用量を削減し、琵琶湖の水質保全、地球温暖化防止、生物多様性等に資する環境こだわり農産物の生産の安定・拡大の促進 【経済・2に再掲】	ブ
				コ 農業者が取り組みやすい環境負荷削減技術の開発・普及	ブ
				コ 環境こだわり農業の象徴となるオーガニック農業の取組を推進	ブ
				「魚のゆりかご水田」をはじめとする豊かな生きものを育む水田の普及拡大	村
				耕畜連携による家畜排せつ物の利活用推進 【経済・3から再掲】	畜
				コ ペレット化等により堆肥の広域流通を促進し、土づくりの取組を推進 【経済・3から再掲】	畜
				＜農業濁水対策の推進＞	
				スマート農業（自動直進田植機、自動給水栓）等を活用した新たな農業排水対策技術の開発と普及	経 耕
				農業排水の循環利用の推進	耕 村
				世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策における農業排水の環境負荷低減に向けた一層の普及啓発	村
				＜農業系廃プラスチック削減対策の推進＞	
				被覆肥料の被膜殻流出の実態把握とその防止対策技術の推進	経
				農業者による農業系廃プラスチックの適切な処理にかかる普及啓発	経
				水田農業における新たな農業系廃プラスチック対策技術（被覆レスの緩効性肥料の活用等）の開発、検証とその普及	村
			環境・2	琵琶湖水産資源の回復	
				＜漁場環境改善の取組の推進＞	
				重要魚介類（環境保全に役立つ魚種を含む）の種苗放流	水
				外来魚やカワウ等の有害生物駆除	水
				魚介類の産卵繁殖や生息場所となる水ヨシ帯や砂地の造成（基盤整備）	水
				水草除去や窪地の埋め戻しによる湖底環境改善	水
				漁業者による漁場環境保全、植林活動、講習会開催への支援 【社会・2に再掲】	水
				水産資源の変動要因解明と効果的資源回復技術開発	水
地球温暖化による異常気象、大規模自然災害、人・家畜等の疾病等の発生リスクの高まり	農産物の収量・品質の低下 農村集落、生産基盤への被害 人・家畜等の疾病等の発生	⑥ リスクへの対応	環境・3	気候変動や自然災害発生等へのリスク対応推進	
				＜気候変動への対応＞	
				環境こだわり農業を始めとする温室効果ガスの排出量がより少ない農業の推進	ブ
				地産地消の推進による農産物輸送エネルギーの削減	ブ
				気象変動（高温等）に対応した水稲の生育診断技術の高度化と栽培管理の実践体制の強化	ブ
				台風などのリスク回避に向けたパイプハウスなどの強靭化の推進	経
				コ 生産性の高い大規模施設園芸の導入による新たな農業経営の確立 【経済・2から再掲】	経
				気象変動（高温等）の影響を受けにくい農作物の栽培技術の開発や水稲品種の育成と小麦、大豆の品種の選定、普及	経
				水田の地力実態の把握と緑肥等による土壌・施肥管理技術の推進	経
				農村の豊かな資源を活用した再生可能エネルギーの推進	村
				＜植物防疫対策＞	
				ICTを活用した病害虫発生予察の高度化とその活用	経
				難防除病害虫のPCR検定等を活用した診断・防除技術の開発	経
				＜農業用ため池・排水路等による自然災害対策＞	
				農業用ため池、排水路などの整備および利用されていない農業用ため池の廃止	村
				農業用ため池のハザードマップ作成支援や劣化・地震・豪雨調査の推進	村
				農業用ため池に係る相談対応や適正な保全・管理のための支援	村
				農業用ダムの洪水調節機能強化のための施策	耕
				＜家畜伝染病対策＞	
				高病原性鳥インフルエンザ等の特定家畜伝染病対策の推進	畜
				飼養衛生管理基準の遵守徹底	畜
				＜水産業へのリスク軽減＞	
				漁業セーフティネット構築（漁業共済等）のための支援	水
				漁業者による自然災害後の原状復帰活動への支援	水
				琵琶湖定期観測等による漁場環境の把握	水
				迅速な資源評価体制の整備 【経済・1から再掲】	水
				気候変動や自然災害発生時に対応した効果的増殖対策の検討	水
				魚病発生状況の把握、薬事指導の推進	水
				＜流通リスクへの対策＞	
				市場等におけるリスク対応の検討などによる食品の安定流通の確保	ブ

コ は、コロナ禍を経て重点的に進める施策　政 農政課　ブ 食のブランド推進課　経 農業経営課　畜 畜産課　水 水産課　耕 耕地課　村 農村振興課

次期農業・水産業基本計画　社会情勢の変化と政策の方向性の関係図⑥【新型コロナウイルス感染拡大】

社会情勢の変化と滋賀県農業・水産業への影響	必要とされる取組	目指す姿の視点	政策の方向性	具体的施策（担当課）
新型コロナウイルス感染拡大	① 地域自給力の向上	経済・1	農業・水産業を魅力ある職業に	
				＜農業における経営力の向上（所得の最大化）＞
				コ 経営力の向上に向けたスマート農業の導入支援 【経済・2に再掲】 経
				コ スマート農業に対応した農業水利施設水管理の省力化の推進 【社会・1から再掲】 耕
				コ スマート農業が活用できる基盤整備の推進 【社会・1から再掲】 耕
				コ 農業法人等への就職者の定着促進 経
				コ 生産性の高い大規模施設園芸の導入による新たな農業経営の確立 【経済・2から再掲】 経
				＜水産業における経営力の向上（所得の最大化）＞
				コ 漁獲情報の電子化・一元化の基盤構築 【経済・4に再掲】 水
				コ 漁業組織の販売スキル強化と流通業者との連携による新たな流通の拡充 【人・4から再掲】 水
				コ 漁獲効率化や技術継承のための琵琶湖漁業のICT化推進 【人・1に再掲】 水
				コ 女性活躍や浜の活性化に対する支援 水
				コ 琵琶湖で働く新しい生き方を支援（漁業の担い手のスキル向上） 水
		経済・2	需要の変化への対応と農地・農業技術等のフル活用の推進	
				＜需要の変化に対応する産地づくり＞
				コ 用途や品種ごとの需要の変化に柔軟に対応する米づくりの促進 経
				コ 主食用米からの転換作物として飼料用米、輸出用米等の非主食用米の効果的な導入と生産性の向上 経
				コ 国産への期待が高まる麦・大豆の生産性を向上する本作化の推進 経
				コ 加工用野菜の国産需要を取り込むための契約栽培を中心とした野菜産地の育成 経
				コ 大規模花き生産者の育成による安定した花き供給体制の確立 経
				＜新たな作物や栽培技術等の積極的な導入および新品種の育成＞
				コ 経営力の向上に向けたスマート農業の導入支援 【経済・1から再掲】 経
				コ スマート農業に対応した農業水利施設水管理の省力化の推進 【社会・1から再掲】 耕
				コ スマート農業が活用できる基盤整備の推進 【社会・1から再掲】 耕
				コ 水田での果樹の展開による新たな水田活用の提案 経
				コ 生産性の高い大規模施設園芸の導入による新たな農業経営の確立 【経済・1、環境・3に再掲】 経
				＜需要の開拓につながる滋賀の特色ある農産物の生産＞
				コ 安定生産・省力化技術体系の確立・普及によるオーガニック農産物の生産の拡大 ブ
				コ オーガニック生産者のJA部会などの組織化を推進 ブ
				コ オーガニックなどの特徴あるお茶の生産拡大による茶産地の底上げ ブ 経
				＜生産を支える農地の基盤整備の推進＞
				コ スマート農業に適した基盤が整備された地域に、GNSS基地局などの先進的技術を導入し、効率的な営農を展開し地域の収益力を向上させる施策の推進 【経済・2に再掲】 耕
		経済・3	近江牛などの畜産物の持続可能な安定生産の推進	
				＜近江牛をはじめとした畜産物の持続可能な安定生産へ向けた取組＞
				コ キャトル・ステーションやコントラクター等の外部組織の活用を推進 畜
				＜家畜ふん堆肥の有機資源としての有効活用と耕畜連携によるエサづくり＞
				コ ペレット化等により堆肥の広域流通を促進し、土づくりの取組を推進 【環境・1に再掲】 畜
		社会・1	農業水利施設の計画的な保全更新対策・管理の省力化および農地の基盤整備の推進	
				＜農業水利施設の保全更新＞
				コ 5Gなどの通信環境の整備やICT・AI技術、ドローンなどを活用した農業水利施設の管理省力化技術の導入 耕
				コ スマート農業に対応した農業水利施設水管理の省力化の推進 【経済・1、経済・2に再掲】 耕
				＜農地の基盤整備の推進＞
				コ スマート農業が活用できる基盤整備の推進 【経済・1、経済・2に再掲】 耕
				コ スマート農業に適した基盤が整備された地域に、GNSS基地局などの先進的技術を導入し、効率的な営農を展開し地域の収益力を向上させる施策の推進 【経済・2に再掲】 耕
		環境・1	農業による琵琶湖を取り巻く環境保全対策推進	
				＜環境こだわり農業の推進＞
				コ 農業者が取り組みやすい環境負荷削減技術の開発・普及 ブ
				コ 環境こだわり農業の象徴となるオーガニック農業の取組を推進 ブ
				コ ペレット化等により堆肥の広域流通を促進し、土づくりの取組を推進 【経済・3から再掲】 畜

【経済の変化（もの）】
- グローバル化の停滞（もの）
- 国内流通の減少

- 食料安全保障への不安増大
- 国産品への需要増大・地産地消の機運の高まり
- 外国産生産資材の輸入停滞への不安増大

コ は、コロナ禍を経て重点的に進める施策　政 農政課　ブ 食のブランド推進課　経 農業経営課　畜 畜産課　水 水産課　耕 耕地課　村 農村振興課

次期農業・水産業基本計画　社会情勢の変化と政策の方向性の関係図⑦【新型コロナウイルス感染拡大】

社会情勢の変化と滋賀県農業・水産業への影響	必要とされる取組	目指す姿の視点	政策の方向性	具体的施策	担当課
新型コロナウイルス感染拡大	② 農業・農村への誘導	人・1	新規就農者・新規漁業就業者の確保	＜本県農業の中核となる農業者の確保＞	
【暮らしの変化】				コ 就農希望者に対する就農・就職等に関する情報提供や相談活動の推進	経
時差出勤、テレワーク、Net会議等による「新しい働き方」の進展	個人時間、家族との時間の増加			コ 就農希望者向け基礎講座や農業現地ツアーなど就農準備への支援	経
				コ 農業法人等への就職を促進するためのマッチング機会の充実	経
				＜本県農業・農村を支える多様な人材の確保＞	
都市部から地方都市へのIJUへの関心の高まり	農業・水産業への関心の高まり			コ リモートワークなど新たな視点も含めて農業に関わる人材の確保	経
				コ 生活と生産が距離的に近い特徴を持つ滋賀らしい多様な生産者と生産基盤の充実	ブ
				＜新規漁業就業者の確保＞	
				コ 琵琶湖で働く新しい生き方支援（漁業の担い手確保）	水
				コ 漁獲効率化や技術継承のための琵琶湖漁業のICT化推進 【経済・1から再掲】	水
余暇の過ごし方、地域活動への関わり方の変化	イベント・セレモニーの減少	人・2	大人に対するすそ野拡大	＜都市と農村の交流、農業・漁業体験等による「人」の「すそ野」の拡大＞	
				コ 摘み取り等のサービス提供や農業体験など、消費者とのタッチポイントの強化による直売所や観光農園等の活性化	ブ
	村における祭礼・行事等の共同活動の簡素化に伴う人々の「絆」の弱まりへの危惧			コ 企業や大学、NPO等の多様な主体との連携・協働による地域資源を活用した農村地域の活性化	村
老後の過ごし方の変化	健康・運動・食生活への関心、気づきの増加	人・3	子ども・若者に対するすそ野拡大	＜食育活動等の推進＞	
				コ 学校給食での湖魚利用拡大の促進（食文化継承・食育）	水
				コ 若者向け動画配信等の湖魚情報メディアの多様化の推進	水
【経済の変化（人・お金）】		人・5	農作業の多面的機能を活かした共生社会づくり推進	＜新たな農福連携の推進＞	
グローバル化の停滞（人）	外国人労働者の減少、失業者の増加			コ 多様な主体と中山間地域の農村集落等との協働活動の推進	村
民間企業の事業縮小に伴う事業収入の減少		社会・2	農山漁村の持つ多面的価値の次世代への継承	＜平坦地・中山間地域に共通した多面的価値の次世代への継承＞	
				コ 企業や大学、NPO等の多様な主体との連携・協働による地域資源を活用した農村地域の活性化 【人・2から再掲】	村
				コ 半農半Xも含めた多様な人材を活用した農業・農村の維持・活性化	経 村
				コ スマート農業等を活用した農地・水路等の保全に係る省力化技術の導入	経 村
				＜中山間地域における多面的価値の次世代への継承＞	
				コ 中山間地域に特化したスマート農業新技術の推進（展示ほ、実演会等）	経 村
【暮らしの変化】	③ 県産農畜水産物の消費拡大	人・2	大人に対するすそ野拡大	＜県産農畜水産物の魅力発信による「人」の「すそ野」の拡大＞	
食事の変化	テイクアウト・宅配需要の増加			コ 都市部に暮らす女性に向けた「食と農」の魅力発信による関係人口の増加の推進	経
				コ 滋賀県産の園芸品目・茶のあらゆる消費シーンにおける魅力発信や新たな利活用方法の提案などによるファンの拡大	ブ
				コ クラウドファンディング等の活用による県産農畜水産物のファンの拡大	ブ
				コ 直売所等を拠点とした、滋賀の食材等の多様なサプライチェーンの確保 【人・4、経済・5に再掲】	ブ
【経済の変化（人・お金）】	中食・内食需要の増加	人・3	子ども・若者に対するすそ野拡大	＜食育活動等の推進＞	
				コ 学校給食での湖魚利用拡大の促進（食文化継承・食育）	水
				コ 若者向け動画配信等の湖魚情報メディアの多様化の推進	水
往来自粛による交通・観光の減少、外食業、宿泊業の衰退・廃業	高級食材、お土産食の消費量の減少	人・4	食品関連事業者に対するすそ野拡大	＜県産農畜水産物を取り扱う食品関連事業者の拡大促進＞	
				コ 直売所等を拠点とした、滋賀の食材等の多様なサプライチェーンの確保 【人・2から再掲】	ブ
				コ 漁業組織の販売スキル強化と流通業者との連携による新たな流通の拡充 【経済・1に再掲】	水
	「健康」、「安全・安心」への関心の高まり	経済・5	「滋賀の幸」のブランド力向上および消費拡大	＜「滋賀の幸」の付加価値の向上＞	
				コ 「琵琶湖八珍」等びわ湖のめぐみ、養殖ビワマス「びわサーモン」・琵琶湖産淡水真珠等の消費者へのPRを通じ、本県水産物のイメージ向上・定着の促進	水
				＜地産地消の強化と首都圏や海外における販路の開拓・拡大＞	
				コ 直売所等を拠点とした、滋賀の食材等の多様なサプライチェーンの確保 【人・2から再掲】	ブ

コは、コロナ禍を経て重点的に進める施策　政 農政課　ブ 食のブランド推進課　経 農業経営課　畜 畜産課　水 水産課　耕 耕地課　村 農村振興課